

◎ 平成 25 年度 学校教育目標

人間尊重の精神に基盤とし、「生きる力」を育む教育活動を推進する。

1. 基礎的な知識・技能を習得するとともに、それらを活用し、自ら考え、判断し、表現する力を育てる。
2. また、仲間と共に生きる豊かな心とたくましい身体を育むことで、一人一人の自己実現を図る。

◎ めざす生徒像

校訓に基づく、めざす生徒像の実現に努める

<校訓> 自主 · 自律 · 共生

<めざす生徒像>

- (1) 自己の将来について具体的な目標を持ち、主体的に学習に取り組む生徒
- (2) 理性と感性のバランスがとれ、自律的な学校生活を送る生徒
- (3) 違いを認め合い、共に伸びていこうとする生徒

大阪市立阪南中学校 平成 25 年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

1 学校運営の中期目標

【視点 学力の向上】

○平成 27 年度の本校アンケート調査で、次の各項目について肯定的な回答（そう思う・ある程度そう思う）をする生徒の割合を、平成 24 年度より 5 ポイント以上増加させる。

- ・「学校の授業はわかりやすい」
- ・「先生は教え方をいろいろ工夫している」 （カリキュラム改革関連）

○平成 27 年度の本校アンケート調査で、次の各項目について肯定的な回答（そう思う・ある程度そう思う）をする保護者の割合を、毎年、前年度より向上させる。

- ・「学校の授業はわかりやすく工夫されている」 （カリキュラム改革関連）
- ・「学校は生徒や保護者に学年に応じた適切な進路情報を提供している」 （ガバナンス改革関連）

○平成 27 年度の授業アンケート調査で、「授業を受けて、授業の内容がわかるようになりますか」の項目について、肯定的な回答（そう思う・だいたいそう思う）をする保護者の割合を、全学年で 70% 以上にする。 （マネジメント改革関連）

【視点 道徳心・社会性の育成】

○平成 28 年度の全国学力・学習状況調査における「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的な回答（当てはまる、どちらかといえば当てはまる）をする生徒の割合を 80% 以上にする。 （カリキュラム改革関連）

○平成 27 年度の本校アンケート調査で、次の各項目について肯定的な回答（そう思う・ある程度そう思う）をする生徒の割合を、平成 24 年度より 5 ポイント以上増加させる。

- ・「あいさつや言葉づかいはきちんとできている」
- ・「学校のきまりを守り、公共物、私物を問わず大切にしている」
- ・「清掃活動に積極的に取り組んでいる」 （カリキュラム改革関連）

○平成 27 年度の本校アンケート調査で、次の各項目についての項目について、肯定的な回答（そう思う・ある程度そう思う）をする保護者の割合を、毎年、前年度より向上させる。

- ・「阪中生は、全般的に落ち着いた学校生活を過ごしている」 （カリキュラム改革関連）
- ・「学校では、人権尊重の立場に立った教育活動が行われている」 （カリキュラム改革関連）
- ・「P T A と学校は、相互に協力し教育向上に努めようとしている」 （ガバナンス改革関連）

○毎年度末の調査において不登校生徒の割合を、毎年、前年度より減少させる。 （カリキュラム改革関連）

【視点 健康・体力の保持増進】

○平成 27 年度の本校アンケート調査で、「病気の治療などに努め、健康を意識している」の項目について、肯定的な回答（そう思う、どちらかといえばそう思う）をする生徒の割合を、平成 24 年度より 5 ポイント以上増加させる。 （カリキュラム改革関連）

○平成 27 年度の本校アンケート調査で、「自分の子どもの心身の健康について、学校へ気軽に相談できる」の項目について、肯定的な回答（そう思う、どちらかといえばそう思う）をする保護者の割合を、平成 24 年度より 5 ポイント以上増加させる。 （カリキュラム改革関連）

○全国体力・運動能力、運動習慣調査における体力合計点の平均を毎年、前年度より向上させる。 （カリキュラム改革関連）

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【視点 学力の向上】

○本年度の本校アンケート調査で、次の各項目について肯定的な回答（そう思う・ある程度そう思う）をする生徒の割合を、昨年度より2ポイント以上増加させる。

- ・「学校の授業はわかりやすい」
- ・「先生は教え方をいろいろ工夫している」

（カリキュラム改革関連）

○本年度の本校アンケート調査で、次の各項目について肯定的な回答（そう思う・ある程度そう思う）をする保護者の割合を、昨年度より向上させる。

- ・「学校の授業はわかりやすく工夫されている」
- ・「学校は生徒や保護者に学年に応じた適切な進路情報を提供している」

（ガバナンス改革関連）

○本年度の授業アンケート調査で、「授業を受けて、授業の内容がわかるようになっていますか」の項目について、肯定的な回答（そう思う・だいたいそう思う）をする保護者の割合を、全学年で60%以上にする。

（マネジメント改革関連）

【視点 道徳心・社会性の育成】

○平成26年度の全国学力・学習状況調査における「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的な回答（当てはまる、どちらかといえば当てはまる）をする生徒の割合を75%以上にする。

（カリキュラム改革関連）

○本年度の本校アンケート調査で、次の各項目について肯定的な回答（そう思う・ある程度そう思う）をする生徒の割合を、昨年度より2ポイント以上増加させる。

- ・「あいさつや言葉づかいはきちんとできている」
- ・「学校のきまりを守り、公共物、私物を問わず大切にしている」
- ・「清掃活動に積極的に取り組んでいる」

（カリキュラム改革関連）

○本年度の本校アンケート調査で、次の各項目についての項目について、肯定的な回答（そう思う・ある程度そう思う）をする保護者の割合を、昨年度より向上させる。

- ・「阪中生は、全般的に落ち着いた学校生活を過ごしている」
- ・「学校では、人権尊重の立場に立った教育活動が行われている」
- ・「P T Aと学校は、相互に協力し教育向上に努めようとしている」

（ガバナンス改革関連）

○本年度末の調査において不登校生徒の割合を、昨年度より減少させる。

（カリキュラム改革関連）

【視点 健康・体力の保持増進】

○本年度の本校アンケート調査で、「病気の治療などに努め、健康を意識している」の項目について、肯定的な回答（そう思う、どちらかといえばそう思う）をする生徒の割合を、昨年度より2ポイント以上増加させる。

（カリキュラム改革関連）

○本年度の本校アンケート調査で、「自分の子どもの心身の健康について、学校へ気軽に相談できる」の項目について、肯定的な回答（そう思う、どちらかといえばそう思う）をする保護者の割合を、平成24年度より2ポイント以上増加させる。

（カリキュラム改革関連）

○全国体力・運動能力、運動習慣調査における体力合計点の平均を昨年度より向上させる。

（カリキュラム改革関連）

大阪市立阪南中学校 平成25年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【視点 学力の向上】 ○本年度の本校アンケート調査で、次の各項目について肯定的な回答（そう思う・ある程度そう思う）をする生徒の割合を、昨年度より2ポイント以上増加させる。 ・「学校の授業はわかりやすい」 ・「先生は教え方をいろいろ工夫している」 (カリキュラム改革関連)	
○本年度の本校アンケート調査で、次の各項目について肯定的な回答（そう思う・ある程度そう思う）をする保護者の割合を、昨年度より向上させる。 ・「学校の授業はわかりやすく工夫されている」 ・「学校は生徒や保護者に学年に応じた適切な進路情報を提供している」 (ガバナンス改革関連)	
○本年度の授業アンケート調査で、「授業を受けて、授業の内容がわかるようになりますか」の項目について、肯定的な回答（そう思う・だいたいそう思う）をする生徒の割合を、全学年で60%以上にする。 (マネジメント改革関連)	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【習熟度別少人数授業の充実】 生徒の学力・学習意欲を向上させる教科指導のあり方や、指導内容の工夫改善に努め、個に応じた指導の充実を図る。	
指標 国語、数学、英語において、TTや習熟度別授業を実施計画どおりに行う。	
取組内容②【言語力や論理的思考能力の育成】 各教科で、多様な言語活動を展開するとともに、朝学活時の読書週間や図書室開放により、言語力の育成を図る。	
指標 11月に読書週間を設定、図書室を昼休みに毎日開放する。	
取組内容③【ICTを活用した教育の推進】 ICT機器を活用した授業に取り組み、研究・研修を行う。	
指標 ICTを活用した授業を年間10時間以上実施する。	
取組内容④【環境を守る意識の醸成】 学校前の道路（グリーンロード）を拠点として、環境に関する取組みを行う。	
指標 創作カルタ、植栽等、計画どおり実施する。	

取組内容⑤【授業研究を伴う校内研修の充実】

研究授業を行い、参観後のチェックシートを活用した協議を充実させることにより、指導力の向上に取り組む。

指標 年間 10 回以上の研究授業を行う。

取組内容⑥【家庭・地域との連携の推進】

学校の様子を積極的に発信する。

指標 校長室だより、学年だより等を定期的に発行する。

学校ホームページを毎月 1 回以上更新する。

大阪市立阪南中学校 平成25年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった	
年度目標	達成状況
【視点 道徳心・社会性の育成】 ○平成28年度の全国学力・学習状況調査における「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的な回答（当てはまる、どちらかといえば当てはまる）をする生徒の割合を80%以上にする。 ○平成27年度の本校アンケート調査で、次の各項目について肯定的な回答（そう思う・ある程度そう思う）をする生徒の割合を、平成24年度より5ポイント以上増加させる。 ・「あいさつや言葉づかいはきちんとできている」 ・「学校のきまりを守り、公共物、私物を問わず大切にしている」 ・「清掃活動に積極的に取り組んでいる」 ○平成27年度の本校アンケート調査で、次の各項目についての項目について、肯定的な回答（そう思う・ある程度そう思う）をする保護者の割合を、毎年、前年度より向上させる。 ・「阪中生は、全般的に落ち着いた学校生活を過ごしている」（カリキュラム改革関連） ・「学校では、人権尊重の立場に立った教育活動が行われている」 ・「P T Aと学校は、相互に協力し教育向上に努めようとしている」 ○毎年度末の調査において不登校生徒の割合を、毎年、前年度より減少させる。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【道徳教育の推進】 副教材や心のノートを活用するとともに、体験的な活動を通して生徒が豊かな感性や情操をはぐくみ、基本的な道徳心・規範意識を培う。	
指標 年間指導計画に基づき、各学年の状況に応じて取り組む。	
取組内容②【人権を尊重する教育の推進】 互いに違いを認め合い、共に生きる力を育てるため、「人権教育・啓発推進計画」に基づき取組みを推進する。	
指標 年間指導計画に基づき、各学年の状況に応じて取り組む。	
取組内容③【特別支援教育の充実】 通常学級に在籍する支援を要する生徒の状況について、全教職員で理解を深め、支援策を考える。	
指標 生徒状況の冊子を作成し、校内研修を2回実施する。	

取組内容④【いじめ、不登校への対応】

子どもに寄り添う指導を行い生徒理解に努めるとともに、家庭との連携を密にして対応する。

指標 学期に1回の教育相談週間を設ける。

取組内容⑤【防災教育の推進】

「警備及び防災の計画」「安全対策マニュアル」に基づき、災害時に備えた訓練を行い、学校の危機管理体制を機能させる。

指標 6月に通常の避難訓練、11月に防災研修（1年）、消防署・区役所・地域の協力を得て防災訓練（2年）を実施する。

取組内容⑥【美化・環境整備】

安心・安全な学校づくりに向け、環境整備を行うとともに、生徒の美化意識の向上に努める。

指標 施設・設備について毎月点検を行う。

学期ごとに大清掃、油引きを行う。

大阪市立阪南中学校 平成25年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点 健康・体力の保持増進】</p> <p>○平成27年度の本校アンケート調査で、「病気の治療などに努め、健康を意識している」の項目について、肯定的な回答（そう思う、どちらかといえばそう思う）をする生徒の割合を、平成24年度より5ポイント以上増加させる。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>○平成27年度の本校アンケート調査で、「自分の子どもの心身の健康について、学校へ気軽に相談できる」の項目について、肯定的な回答（そう思う、どちらかといえばそう思う）をする保護者の割合を、平成24年度より5ポイント以上増加させる。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>○全国体力・運動能力、運動習慣調査における体力合計点の平均を毎年、前年度より向上させる。 (カリキュラム改革関連)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【体育的活動の充実】 体育大会を充実させるとともに、各学年で体力づくりのため、スポーツ大会の取組みを行う。	
指標 学年の取組みとして、球技大会やマラソン大会を実施する。	
取組内容②【健康な生活習慣の確立】 各健康への関心を高めるような情報提供や啓発活動を行う。	
指標 定期健康診断等の機会を利用し、情報提供を行う。 毎月の生徒環境委員会による、ポスター作りを行う。	
取組内容③【健康に関する現代的な課題への対応】 自己の心身の発達と変化を理解し、健康に対して正しい知識を身に付けさせる。	
指標 警察署と連携し、薬物乱用防止教室を実施する。	